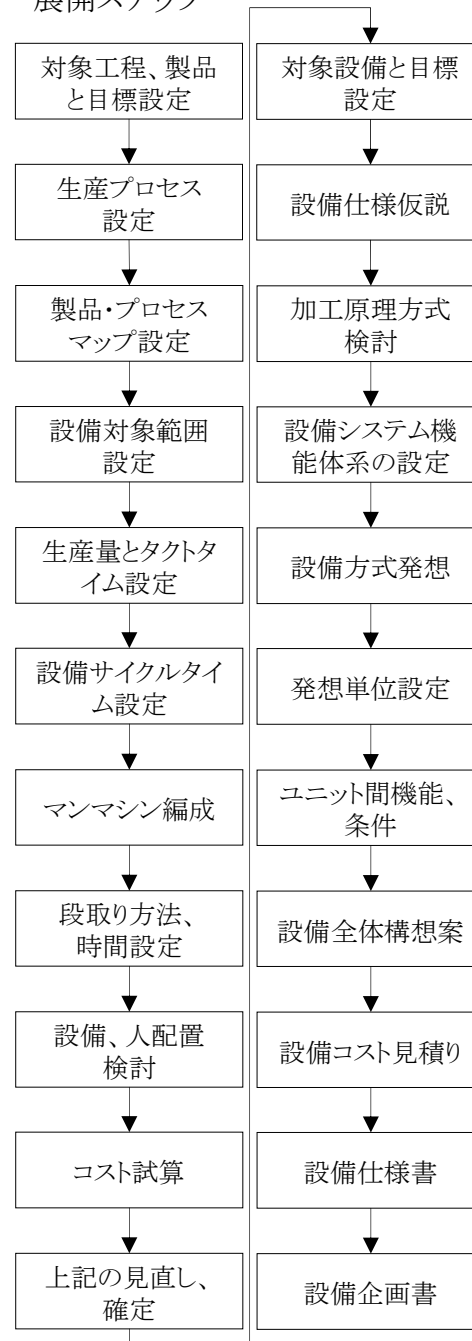
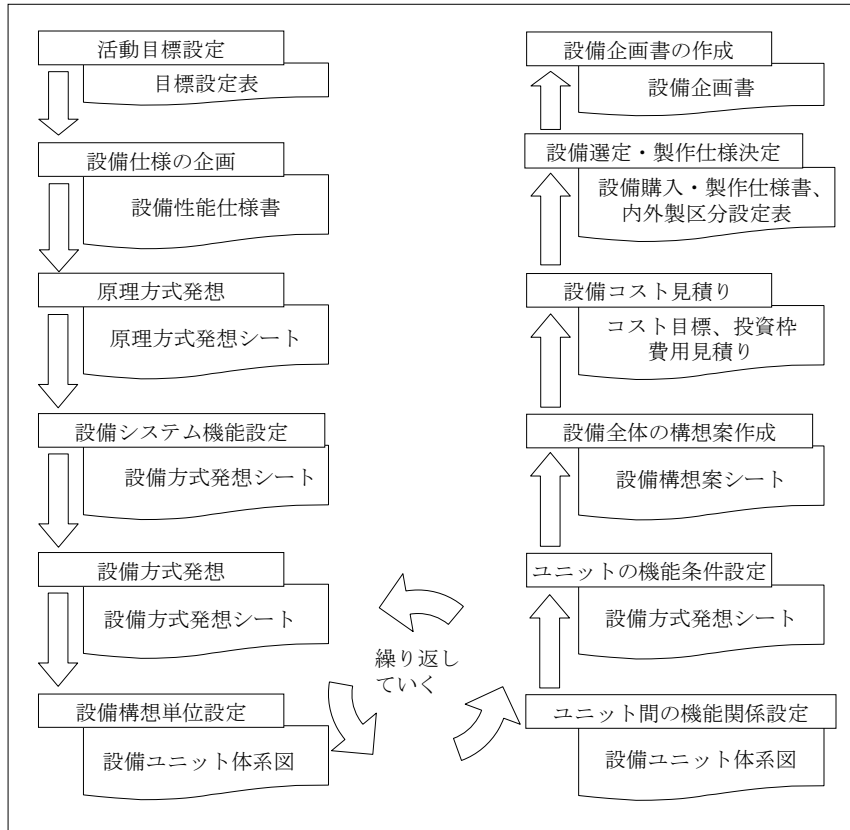


自社の生産設備は、設備メーカーの標準機を購入しても満足したものを得ることは難しいのが現実です。なぜなら、設備メーカーの製品は、その単独設備での構想をしたものであり、自社に必要な設備は自社の生産システム、生産管理システム、物流システム、情報システム等との連携を必要とし、さらには、製品の品質、コスト、納期等を考えて、人、材料、設備とのバランスをとったものであることが望まれるからです。これらの全てを盛り込んだ設備を期待することは、設備メーカーのみに期待することは出来ません。したがって自社でそれらを構想し、バランスのとれた設備仕様を企画し、それをもつて設備メーカーと交渉して必要な設備を導入することが望ましいといえます。自社の生産設備は、イニシャルコストに左右されるのではなく、製品のQCDが最適になるようなものにしていく必要があります。その検討は図のようなステップで検討すると良いでしょう。

展開ステップ



設備企画時の検討視点ステップ



設備企画時の体系的検討視点

